

☆病理検査ご依頼の流れ☆

検体採取

- ◎手術・生検による組織材料はホルマリン容器へ入れ保存。
- ◎細胞診材料はそのまま容器に入れるか細胞診用固定液へ入れ保存。
- ◎依頼書は当院依頼書をご使用下さい。

提出

- ◎通常検体：外注業者が各医院・診療所へ伺い、検体をお預かりし飯山赤十字病院へ提出されます。
《取扱業者：BML》※外注検査をBMLと契約されていないご施設はご相談ください。
- ◎至急検体：至急に結果が必要な症例につきましては直接、飯山赤十字病院へお持ち頂ければ対応致します。

飯山赤十字病院 病理

- ◎病理診断報告書は提出後、最短で翌々日の夕方、最長で8日（土日含め）で第1報ができます。
- ◎細胞診報告書は提出後、通常は2日程度ですが、最短で当日、最長で5日で第1報ができます。
- ◎症例により直接お電話する場合があります。

標本作製 診断

報告書の送付

- ◎FAXまたはE-mailで報告書をPDFファイルで送信し第1報をお届け致します。
- ◎検体をお預かりした外注業者により報告書をお届け致します。
- ◎HE標本等、必要な場合は報告書に添えてお渡し致します。

☆検査及び診断料について☆

◎病理組織標本作製・診断（1臓器につき）・・・5,000円（保険点数：860点）

※免疫染色（保険点数：400点）も含む。

◎細胞診・・・1,000円（保険点数：婦人科材料等150点、穿刺吸引、体腔液等190点）

◎その他・・・診断においてその他の特殊検査が必要な場合には、その都度、協議の上、金額を決定する。